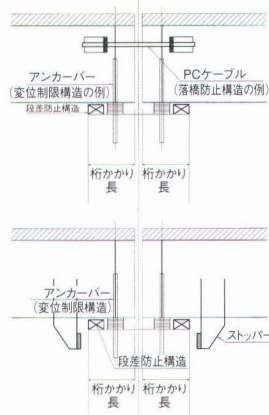


# 4. 落橋防止システムの計画フロー

調査項目	検討項目
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上・下部工形式</li> <li>・道路線形</li> <li>・架設状況(新設、既設)</li> <li>・周辺環境</li> <li>・設計震度</li> <li>・支承タイプ</li> <li>・塗装色</li> <li>・視点位置 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震性</li> <li>・上部工および下部工強度</li> <li>・移動性能</li> <li>・耐久性</li> <li>・連性的な機構 など</li> </ul>



## 落橋防止システム

構造検討

見せるか

NO

YES

強調するか

NO

YES

- ①けたかかり長：上部工と下部工の重なり長を一定値以上確保。
- ②落橋防止構造：PCケーブルやストッパーなどを用いて落橋を防止。
- ③変位制限構造：支承が損傷した場合、上下部構造間の相対変位を制限。
- ④段差防止構造：車両走行が困難となる段差を防止。

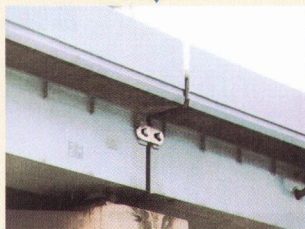
## 強調型

形状の工夫



形状を強調した例

色彩の工夫



橋梁本体と対比調和させた例

配置の工夫



各主桁位置に設置した例



形状を強調し、アクセントカラーを用いた例



規則的に全体に配置した例

留意点

- ①突出感を強調することなどにより、アクセントを持たせる。

留意点

- ①橋梁本体と対照調和する色彩を選定する。
- ②アクセントカラーを用いる。

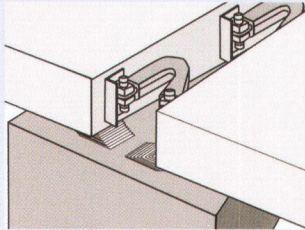
留意点

- ①機能性を重視した外観とする。
- ②主桁より広い部材を配置する。
- ③力強く、規則性のある配置にする。



# 消去型

## 形状の工夫



桁内に取めた例



下部工内に取めた例

### 留意点

- ①見えがかり部に設置しない。
- ②下部工の形状を工夫して覆う。
- ③一体型の構造とする。

## 化粧板による工夫



ルーバーを用いた例



化粧板を用いた例

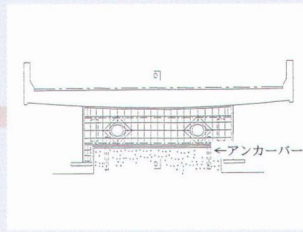
### 留意点

- ①主桁の側面、下面に化粧板およびルーバーを用いて隠す。

## 配置の工夫



端横桁に設置した例

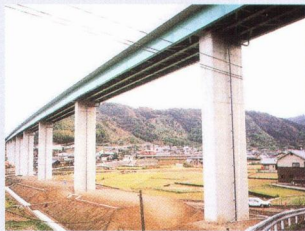


コンクリート内に設置した例

### 留意点

- ①上下部工内に設置する。
- ②見え難い箇所に設置する。

## 構造の工夫



主桁を連続化した例



上下部を連続的に一体化した例

### 留意点

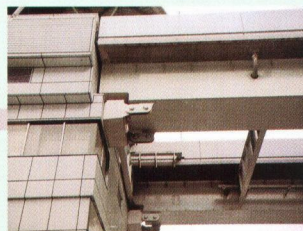
- ①落橋防止装置が必要となる個所を減らす。(剛結構造など)
- ②上下部工の一体化。

# 融和型

## 色彩の工夫



橋梁本体と類似調和させた例



下部工と同じ色彩を用いた例

### 留意点

- ①主構造と同じ色彩にする。
- ②類似調和する色彩を選定する。

## 形状の工夫



ダミー部材

ダミー部材を用いた例



曲線を用いた例

### 留意点

- ①部材の連続性を考慮する。
- ②角部の曲面加工や曲線を用いた形状とする。